

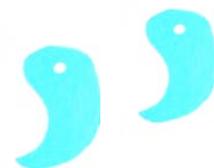
やまもと対話・学びの場づくり@ポラリス（第1回）

「合戦原遺跡をもっと知りたい！勉強会」

企画・指導 佐古和枝先生

協力 齋藤光弘さん 清水ますみさん 松田正雄さん

2015年8月22日（土）10:00～12:00



（本日のプログラム）

10:00～10:10	開会のご挨拶 ゲスト紹介
10:10～10:40	現地の様子を見に行こう
10:40～10:55	休憩
10:55～11:25	「先生の資料で合戦原遺跡を勉強しよう」 語り手：清水ますみさん
11:25～11:35	先生とスカイプでお話しよう
11:35～12:00	みんなでお話しよう 協力：齋藤光弘さん 松田正雄さん

（今回企画・指導をしてくださった先生の紹介）

佐古和枝（考古学：関西外国語大学教授）

さこ・かずえ 鳥取県米子市出身。同志社大文学部卒、同大学院博士前期課程修了。

関西外国語大助教授などを経て、2004年から同大学教授。専門は日本考古学。

長崎県文化財審議委員、特別史跡長崎県壱岐原ノ辻遺跡発掘指導委員、日本考古学協会理事、市民グループ「むきばんだ応援団」副団長。「山陰遺跡ネットワーク会議」代表

考古学の成果を広く一般に伝えるために、研究・執筆のかたわら、市民講座やイベントを多数企画・主宰。

著作物も「考古学はたのしい3巻」「ようこそ考古学の世界へ」など、考古学を専門外の人達に楽しく、

分かりやすく伝えるものが多い。鳥根県雲南市の創作市民演劇『異伝ヤマタノオロチ』の原作など、

ユニークな著作もある。鳥取県妻木晩田遺跡の保存運動に取り組み、妻木晩田遺跡の普及・活用にむけた活動も続けている。

（本事業の目的）

NPO 法人ポラリスでは、対話・学びの場を創ることで、人々の意識に働きかけ、町の文化や人々の生き方の質を変革し、受け身ではない主体的な行動を促し、誰もが心豊かにいきいきと生きていける「新しい山元」の創生を目指しています。また、そうした場で地域課題の担い手育成にも取り組んでいます。

（今回の内容について）

日本考古学界でも今まさに話題になっている「合戦原遺跡」。とくに注目されたのは、この遺跡の横穴墓群で発見された線刻壁画です。この横穴墓群は、7世紀後半から8世紀前半（確認）に築かれたもので、横穴墓群から発見された副葬品は「え？」というほど豪華だそうですよ！

横穴墓の線刻壁画は、北九州から山陰、近畿、南関東・東北の太平洋沿岸地域に見られるようで、いまのところ宮城県が北限です。

そして、合戦原遺跡の横穴墓の構造も壁画の描き方も、九州のお墓に似ているのだそうです。数あるお墓の中で、どうして九州と似ているのでしょうか？その線刻壁画はいったい何を、何のために、どんな気持ちで描かれたのでしょうか？私達も想像をめぐらして考えみましょう、話し合ってみましょう。

また合戦原遺跡の周辺では、奈良・平安時代の製鉄炉や木炭焼成窯も多数見つかっており、この丘陵全体が鉄器作りの一大工房であることがわかりました。当時、鉄器作りは最先端の技術です。

いまのような便利な機械や科学技術のない時代に、鉄や木炭を、どんな工夫をして作っていたのでしょうか、何に使ったのでしょうか？

合戦原遺跡のことを考え始めると、なんだかワクワクしてきませんか？

もし今、大切な家族のお墓の壁に絵が描けるとしたら、何を描きますか？

地元の大昔のこと、遠い昔の私たちのご先祖さま達の暮らしぶりに、思いを馳せてみませんか？これが考古学の楽しさ！

そして、その想像力が私たちポラリスのアートな力にもつながっていきます。

震災で発掘も大変でした。全国各地の考古学の調査員がこの山元町の発掘調査に力を貸して下さって、今回の成果が得られたそうです。

本事業の第1回を飾る考古学勉強会。このニュースには、ご先祖様の復興を応援するメッセージが込められているのかもしれませんが、いったいどんなメッセージなのか、聞いてみたいと思いませんか？だから皆んなで「合戦原遺跡をもっと知りたい！勉強会」。



みやぎ地域復興支援助成事業「コミュニティで変わる新しい山元創生事業」
やまもと対話・学びの場づくり@ポラリス（第1回）
「合戦原遺跡をもっと知りたい！勉強会」

日時：2015年8月22日（土）10:00～12:00

場所：ポラリス

定員：30名

講師：佐古和枝さん（関西外国語大学 英語国際学部教授：考古学者）

指導：齋藤光弘さん

協力：清水ますみさん 松田正雄さん

事業目的：ポラリスが、人々の意識に働きかけ、町の文化や人々の生き方の質を変革し、受け身ではなく主体的に行動するようになり、誰もが心豊かにいきいきと生きていく「新しい山元」創生を目指す。また、その場を通じて地域課題の担い手育成にも取り組む。

次第：	10:00～10:10	開会のご挨拶	ゲスト紹介
	10:10～10:40	現地の様子を見に行こう	
	10:40～10:55	…休憩…	
	10:55～11:25	「先生の資料で合戦原遺跡を勉強しよう」	語り手：清水ますみさん
	11:25～11:35	先生とスカイプでお話しよう	
	11:35～12:00	みんなでお話しよう	協力：齋藤光弘さん 松田正雄さん

参加者：22名 町内13名 町外（県内6名 県外3名）

※スカイプで講師指導：1名（佐古先生）・・・当日予定していた町の学芸員が諸事情で参加できず、今回の企画などをご支援いただいていた佐古先生が講演先の熊本からスカイプで指導してくれた。

所感

今回はポラリスメンバーも参加した。講師らの説明をなるべくわかりやすく作成して頂き、特に佐古先生の作った資料は障害を持つ方にも子供にも分かるように作成して頂いたのが、メンバーがほかの参加者と同じように集中して真剣に聞くことができた。考古学について詳しくない方もとてもわかりやすかったようだ。

被災した山元の古代の様子を想像し、海沿いで温暖な地域性から、当時製鉄の場所として、また装飾品のおおい横穴墓、線刻壁画も発見されて、古代も住みやすい魅力的な場だったと感じ、これからの町づくりにその歴史も利用して活かしたいと共有した。

実際発掘されている方に協力いただいたのも臨場感がでてよかった。これまでの地域づくり勉強会では参加したことがない方々ともつながり、第1回勉強会を考古学にしたのは大成功だったと考える。

「合戦原遺跡をもっと知ろう勉強会@ポラリス」の様子

2015. 8. 22



準備中



受付



資料展示



資料展示



鉄せん



語り手: 清水ますみさん



ファシリテーター 斉藤光弘さん



発掘おじさん (松田正雄さん)



現地に歩く



横穴墓はシートで覆われていた



佐古先生資料による勉強会開始



清水ますみさんによる説明



みんなで感想を述べる



グループごと対話



感想を書く